

君津市小中学校における水泳指導とプール施設のあり方に関する基本方針について

教育委員会

1 策定の目的

君津市の水泳指導およびプール施設のあり方を「教育効果の維持向上」、「児童生徒の安全面・衛生面の確保」、「施設の維持・管理」の視点から、より安全で質の高い水泳指導を目指すため基本方針を策定する。

2 水泳指導の現状と課題

小中学校における水泳指導は、学校プール施設を使用し、当該校の教員によって行われてきたが、児童生徒の泳力差が大きくなっており、個々の能力に応じた指導が難しくなっている。

施設面においては、老朽化から改修を必要とする施設や使用できない施設があり、水泳学習の実施に支障がある。

3 今後の水泳指導に向けて

小学校では、実技指導に重点を置き、水泳指導を久留里市民プールや民間プール施設、また、比較的新しい学校プール施設等で実施し、補助指導員の配置とインストラクターの活用により、安全な環境で効果的な指導による泳力の向上につなげていく。

中学校では、水泳の事故防止に関する心得など安全に関する理論学習へ移行していく。

発達段階を考慮し、小学校期の実技指導の充実と中学校期の理論学習により、9年間を見通した水泳指導を進めていく。